

## バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】伊万里市バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
14	2006.7.31			佐賀県	伊万里市	58,190	254.99
構想の要約		伊万里市を中心に、JAやNPO法人等を構成員とする伊万里市バイオマス利活用推進本部を設置し、その構成員との連携を図り、かつ一般市民の参画を得ながら、利活用すべき資源ごとに部会を設けて推進する。家畜排せつ物はたい肥化し農地還元、生ごみはたい肥化・エネルギー化、下水汚泥は土壌改良材や有機物として農地還元、建設発生材は熱利用を行う。					
構想に盛り込まれた事業		ア. 民間事業者による生ごみバイオガス化(メタン)支援 イ. NPO法人等による廃食用油BDF化支援 ウ. 製材残渣によるコージェネレーション支援 エ. 民間事業者のバイオマスエコタウン整備構想支援 オ. 高発電効率可燃ごみガス化事業 カ. 小規模分散型可燃ごみガス化事業					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝	○		
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材	○	その他( )			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙					
下水汚泥など	○				
その他( )					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	○
その他( )		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他( )	

バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

## バイオマス利活用目標

(バイオマスタウン構想書からコピー)

### (1) 利活用目標

#### ① 廃棄物系バイオマス(99%)

家畜排せつ物や生ごみ、下水道等汚泥についてはたい肥としての活用を進めるほか、ガス化によるエネルギー利用、さらには液肥としての活用法も検討する。

製材残渣や建設廃材については畜舎の敷料としての活用を促進するほか、民間事業者によるバイオマス発電のためのボイラー燃料としての活用を検討する。

廃食用油は自動車燃料として利用しているNPO法人と連携して、市の公用車などの燃料としての活用を検討する。

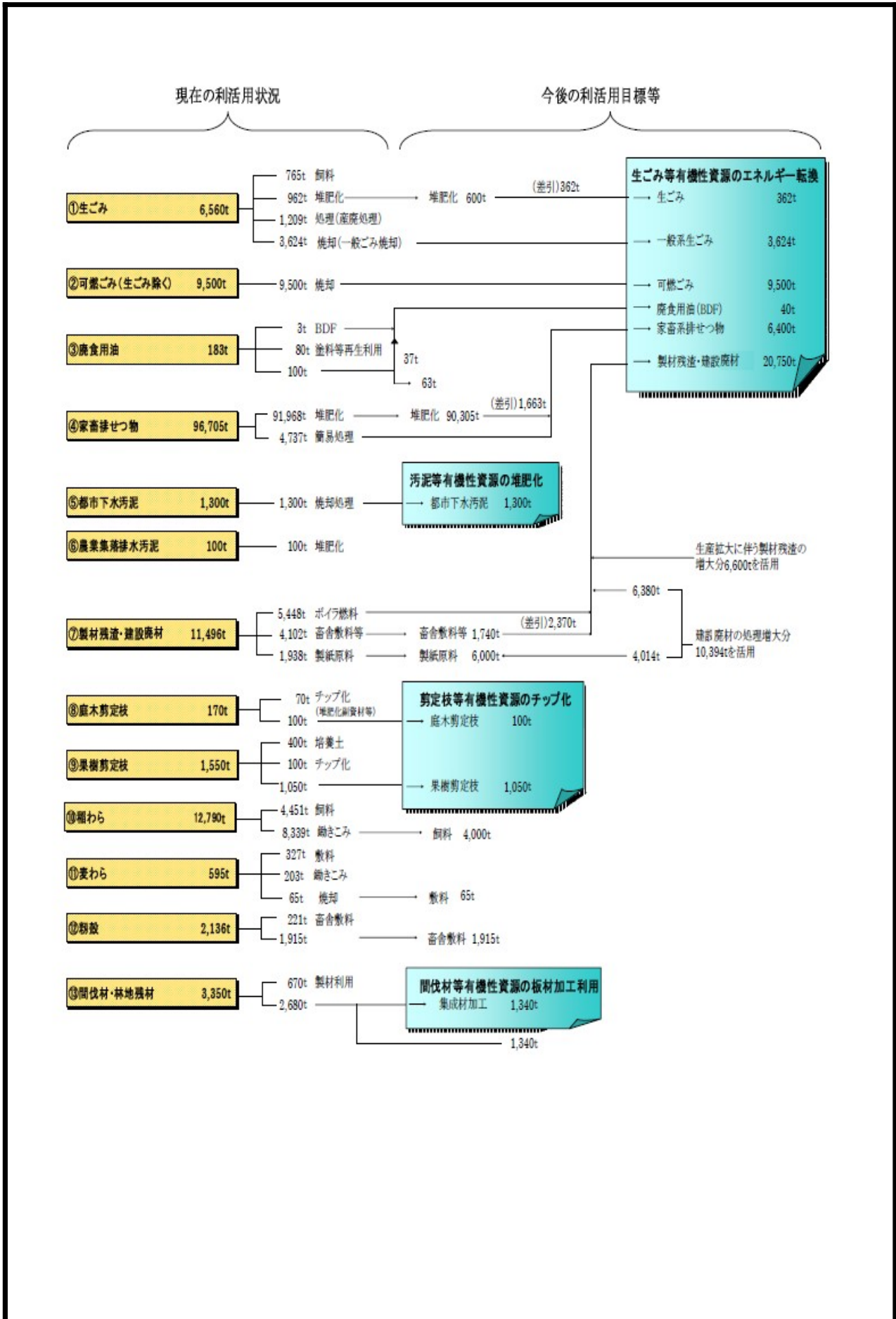
#### ② 未利用バイオマス(69%)

稲(麦)わらはは家畜飼料や畜舎の敷料として活用するほか、もみがらについても畜舎の敷料、薫炭による土壌改良剤として活用する。

間伐材については、上質間伐材の製材、製品化とあわせて、曲がり材等未利用間伐材の集成材の加工原料としての利用を促進する。果樹剪定枝等については、チップ化による、たい肥副資材としての活用を図る。

# バイオスタウン構想概要図

(バイオスタウン構想書からコピー)



## 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)